

## 内閣府だより

情報通信産業の集積拠点

## 「沖縄IT津梁パーク」がオープン

国内外の情報通信産業の集積拠点の形成を目指す一大プロジェクト「沖縄IT津梁パーク」

去る平成21年6月11日、同パーク内で1棟目となる中核支援施設A棟の完成を記念して、現地（うるま市）にて開所式が行われました。



テープカットを行う  
柴田内閣府審議官、  
仲里副知事等

中核施設A棟  
（平成21年5月完成）



沖縄IT津梁パークとは

高度ソフトウェア開発などの新しい情報通信産業の拠点を目指し、アジアとの津梁（架け橋）機能や高度

な人材育成の機能などを備える沖縄IT津梁パーク。平成20年度から、内閣府と沖縄県が連携して整備を進めています。総敷地面積は、約17・3ヘクタールです。

## 今後の整備計画

この度、完成した中核支援施設A棟は、人材育成センターやオフィス開発センターなどの公的機能が入居するほか、会議室やプレゼンテーションルームなどの共用施設も備わっています。

今秋には、主に賃貸オフィスとして利用される中核支援施設B棟の建設にも着手する予定です。

今後、中核支援施設の周辺には、民間IT業務施設が整備される計画であり、ソフトウェア開発企業やデータセンター、BPO関連企業などの入居が期待されています。



沖縄IT津梁パーク全景予想図  
（中央手前が中核支援施設）

## かりゆしウェアの普及・促進について

内閣府沖縄担当部局では、6月1日から始まったクールビズ期間に合わせて、かりゆしウェアの普及・促進に取り組んでいます。

6月2日、麻生総理、佐藤沖縄担当大臣を始めとする全閣僚が、かりゆしウェアを着用し、閣議に臨みました。

また、内閣府沖縄担当部局が所在する庁舎内において、県物産公社主催による展示販売会（5月26日）を開催し、職員による積極的な着用を呼びかけるなど、クールビズの一例としてかりゆしウェアの普及に努めています。



かりゆしウェアを着用する各  
大臣（国会内大臣室にて）  
提供：内閣広報室



かりゆしウェアを試着する  
佐藤大臣、小淵大臣  
（展示販売会にて）